

幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム
第二回scChemRISC研究会・講演会

幹細胞を用いた安全性評価研究 ～次世代技術による新たな安全性評価への挑戦と課題～

プログラム概要

◆ 招待講演

Thomas Knudsen (米国環境保護庁 計算毒性学センター)

◆ 講演

諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター)

田中 康浩 (ILSI-Japan/サントリーMONOZUKURIエキスパート株式会社)

◆ AIチュートリアルセミナー中級編

加藤 毅 (群馬大学 理工学府)

◆ コンソーシアムの活動報告

日 程:2019年10月16日(水)

会 場:横浜薬科大学 Leo Esaki記念ホール

世話人:堀 妃佐子

(サントリーMONOZUKURIエキスパート株式会社)

登録受付中!

〈参加登録〉

会 員:5,000円

非会員:8,000円

事前参加登録〆切:
2019年9月19日(木)



幹細胞を用いた
化学物質リスク情報共有化コンソーシアム
Stem Cell-based Chemical Risk Information Sharing Consortium (scChemRISC)

参加登録はこちらから:



<http://scchemrisc.stemcellinformatics.org/conference2019.html>

講演者

「Profiling the ToxCast library with a pluripotent human (H9) embryonic stem cell assay」



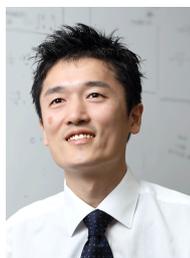
Thomas Knudsen
米国環境保護庁(EPA)
計算毒性学センター

「ヒト幹細胞を用いた新たな安全性評価法の開発と国際標準化」



諫田 泰成
国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター

AIチュートリアルセミナー中級編



加藤 毅
群馬大学 理工学府

「食品領域の安全性評価の課題とILSI Japanの新たな取り組み」



田中 康浩
ILSI Japan /
サントリー-MONOUZUKURI
エキスパート株式会社

会場アクセス

横浜薬科大学 Leo Esaki記念ホール (横浜市戸塚区俣野町601)



<https://www.hamayaku.ac.jp/access/index.html>

- JR戸塚駅からバス
戸塚バスセンター1番乗り場
戸50、戸51系統「ドリームハイツ行」
「俣野公園・横浜薬大前行」に乘車、
「俣野公園・横浜薬大前」下車
- 湘南台駅(小田急、相鉄、市営地下鉄)からバス
湘南台駅東口より、バスのりば2番(湘27・29)
から「ドリームハイツ行」、
「俣野公園・横浜薬大前行」に乘車、
「俣野公園・横浜薬大前」で下車



scChemRISC

scChemRISCは、産官学が連携し、幹細胞を用いた化合物の反応データベースを構築することで、ヒト細胞へのリスク試験における評価情報の基盤構築を目指します。

お問い合わせ先: scChemRISC事務局
scchemrisc@cira.kyoto-u.ac.jp



幹細胞を用いた
化学物質リスク情報共有化コンソーシアム
Stem Cell-based Chemical Risk Information Sharing Consortium (scChemRISC)